

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻 准教授
氏名 Name	蔦 清行
専門分野 Academic Field	日本文献学

平成 30 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	古代・中世日本の言語と文化				
<p>研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>これまでの研究において蓄積された成果のうち、未公表のものをなるべく多く公表するように努めたい。主たるものは次の三点である。</p> <p>1, 抄物の研究：2016 年度から科研費を受けて研究を進めているものであるが、『山谷幻雲抄』に見える人名・書名について索引を作成するほか、論文の形で研究成果を発表したい。現在、他文献に見えず、抄物にのみ看守される故事について研究する論文を執筆中。</p> <p>2, 上代語の文法の研究：2015 年にカの係り結びがなぜ連体形を結びに持つのかを論じた論文「連体形結びの役割」(『国語国文』第八十四巻第四号) を執筆したが、これをソの係り結びに応用して研究し、ソの係り結び文の意味について論じたい。</p> <p>3, 上代語の文法の研究 (2)：ミ語法にサ変動詞スを添えた「形容詞語幹+ミス」形式の動詞について、通時的に考察したい。どのような意味的特徴があるか、その理由は何か、といった点について研究する。2012 年に訓点語学会で行った研究発表「訓点資料のミ語法と形容詞連用形」に大幅に手を加えて執筆する予定である。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	日本文学	言語学	日本語学	日本語教育	中国文学
キーワード Keywords*2	抄物	五山文学	林宗二	上代語	係り結び